

抗体検査と予防接種について

医務室

1. 抗体検査・予防接種が必要な理由

医療系学科は、医療機関や福祉施設等での実習を実施しています。そのため抗体検査を受けて感染症に対する免疫を知ること、また予防接種で免疫をつけておくことは、実習場所で皆さんが感染しないためにも、皆さん自身が感染源にならないためにも非常に重要です。

2. 実習に必要な検査

抗原検査：B型肝炎

抗体検査：B型肝炎、小児感染症 4 種※麻疹・風疹・ムンプス（おたふくかぜ）・水痘（みずぼうそう）

3. 予防接種の進め方

- ① ご自身で抗体検査の結果を確認し、次項の予防接種フローチャートに沿って進めてください。
- ② 抗体値が本学の基準値を満たしている項目については、新たに接種する必要はありません。
基準値を満たしていない項目については、必要な接種規定回数をフローチャートで確認のうえ、医療機関で各自接種してください。
- ③ 複数の予防接種が必要な方は、計画的に進めていく必要があります。初回受診時に医師と相談し、接種スケジュールを立てて接種してください。

※アレルギーや持病などにより予防接種ができない方は、看護・医療系学部グループと医務室までご連絡ください。

4. 「予防接種証明書」について

予防接種を行ったことを証明するためには、「予防接種証明書」が必要です。

「予防接種証明書」とは『いつ』『どこで』『誰が』『何を』接種したかがわかるものをいいます。

※なお、看護学科は様式が指定されていますので注意してください。

【予防接種後の留意点】

- ・ 予防接種証明書のコピーをとるなど、ご自身の接種履歴を各自で管理してください。
- ・ 後期来校時に予防接種証明書の原本を看護・医療系学部グループに提出してください。ただし、提出時期等について別途指示がある場合は、その指示に従ってください。
- ・ 母子健康手帳に予防接種記載してもらった場合は、母子健康手帳の原本と該当ページのコピーを看護・医療系学部グループまで持参してください。（窓口で確認して、コピーを受領されます。）

5. B型肝炎抗原検査について

B型肝炎抗原検査の結果が「陽性」の場合は、必ず医療機関を受診し医師の指示に従ってください。その後、受診結果を医務室までご報告ください。

以 上

